２０１９御幸一自治会だより新年号

2019年1月25日発行

新年明けましておめでとうございます。



昨年は、春の花見会、夏の総合防災訓練、秋の体育祭、長寿を祝う芋煮会そしてソフトボール大会等々の事業に多くの皆さんの参加や支援のなか無事に楽しく終えたことに心から感謝申し上げます。また、班長さんには、御幸一公園の除草や新たに６月、９月に行った班長会議等の参加協力ありがとうございました。

平成の３０年間は、私にとって「災害」が日本各地に見られた時代であり、携帯電話を始め「技術の大革新」の時代であった印象が強く感じます。　特に東日本大震災を始めとする「災害」に対し、多くの人の絆の大切さと原子力発電に対する人類の無力さに心を痛むことが、今も現実の問題として継続しています。

今年は、亥年です。イノシシは知力・体力がありまた家族を大切にする動物です。「平成」の時代の最後の年にあたり、役員一同、新たな気持ちで自治会活動を進めていきたいと考えています。

会員の皆さんの益々のご健勝を心からお祈り申し上げまして私の新年の挨拶と致します。

御幸一自治会長　中野　隆夫

昨年のソフトボール大会と親子夏祭りの写真





民生児童委員について民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、「児童委員」を兼ねています。児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行います。また、一部の児童委員は児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」の指名を受けています。

当自治会には民生児童委員として遠藤幸枝様、関根良乃様の２名が委嘱を受けております。

日頃、自治会の方々に対し福祉、介護、児童、人生相談等のカウンセリングをしていただき感謝申し上げます。今回お二人からお話を伺いました。

民生委員になった動機	・何かお役に立てることがあるかと思い、微力ですが地域の高齢者や障がい者の方々とふれあい安心して暮らせるよう少しでも支援して行きたい。 ・時間に余裕ができた時にお話をいただきました。今まで皆様にお世話になってきたので、自分にできることがあるのならと思いお引き受けしました。
民生委員になって何年になりますか	・２年 ・６年
民生委員になって良かった事	・ある高齢者から相談を受けたので、行政の担当者の方に出向いて頂き相談内容について話し合い納得されて喜ばれた事、以前ご自分で行政に相談したが、対応してもらえなかったとの事 ・人生の先輩から様々なお話が聞け勉強になります。 ・あまり知らなかった地域の事を知ることが出来ました。
民生委員になって困った事	・高齢者調査で訪問した時、インターホンで断られてしまい答えてもらえなかった事 ・最初の頃はわからないことが多く困りました。
民生委員としての誇りとは	・今は未だ誇りはありません ・おしゃべりをしたら少し気分が楽になった。と思ってくれる人が一人でもいらしたら。それが私の誇りです。
今後の役割をどのように考えますか	・これからも引き続き訪問活動を続けお元気な生活を支えて行けるよう地域の方々と共に歩み続けたい ・地域の皆さんと行政の繋ぎ役として、少しでも過ご易いように御手伝いすること。

自治会員異動報告

新規会員：南谷康博様（ミナミタニ　ヤスヒロ）８Ａ班　鈴木大樹様（スズキ　タイキ）８Ａ班

退会会員：松本重信様２５Ｃ班　池田知英子様３２班